

授業科目名	物質工学研究 I・II (Research work for material science I・II)(Kコース)						
講義番号		単位数	各 4	学期	通 年	曜日・時限	
区分 (必, 選, 選必)	必 修	対象学生	1年, 2年				
担当教員名	物質工学専攻教職員				所属等		
研究室							
分担教員名							
キーワード	問題分析、課題設定、課題解決、仮説設定、仮説検証、文献調査						
授業目標	<p>工学技術者として、以下の能力を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術的問題を分析する能力を習得する。 2. 技術的課題を設定および解決する能力を習得する。 3. 文献調査能力を習得する。 4. 仮説の設定と検証などを行う能力を習得する。 						
学習内容	各自の修士論文に関する研究課題とは別の研究課題について、その技術的な問題の分析や解決を行う。また、多くの技術的分野に関する研究報告などを学会等で聴講し、研究活動に必要な技術的知識を養う。						
授業計画	<p>1年間に以下の7つの項目について、180 時間以上の活動を行う。</p> <p>項目1 研究室内(他研究室でも可)の、他の学生の修士論文研究につき、その研究実施方法(課題提案や問題解決法)を考え、レポートにして、教員の指導を受ける。</p> <p>項目2 各研究室内あるいは、他研究室の共通的・基本的な研究・実験技術の習得(修士論文以外の内容)</p> <p>項目3 佐鳴湖浄化に関する研究・実習。(修士論文のテーマとの重複不可)</p> <p>項目4 各自の修士論文と関係無い研究に関する講演や、学会での講演の聴講</p> <p>項目5 学内外での技術的な講演会の聴講</p> <p>項目6 各研究室における4年生への卒業研究指導補助</p> <p>項目7 その他、修士論文と重複しない技術的な研究活動</p>						
授業要件	特別セミナー I・II を履修すること。修士論文研究を同時に実施すること。						
テキスト	なし						
参考書							
予習・復習 について							
成績評価の 方法・基準	7つの項目の実施時間の合計が 180 時間以上であるときに単位を与える。						
オフィスアワー	各指導教員に確認すること						
担当教員からの メッセージ							
関連科目	物質工学専攻の他の全ての科目						
JABEE との関連	基準1(1)の全ての項目に関連する。						
アンケート	実施しない						